

まちづくりニュース

発行：2009年1月
中野区都市整備部
西武新宿線沿線まちづくり担当

目次

1面 創刊にあたって

2面 連続立体交差事業について紹介します

3面 地域のみなさまの活動を紹介します

4面 第一回現地視察会を開催しました！

4面 平成20年度まちづくり勉強会の開催

4面 次号予告



創刊にあたって

西武新宿線は中野区民の日常を支える重要な鉄道ですが、沿線地域では、踏切により朝夕の交通渋滞や地域分断など多くの課題を抱えています。

地域からは、長年にわたり踏切の解消を求める切実な声が行政や鉄道事業者に寄せられ、連続立体交差化について検討が進められてきました。

沿線まちづくりの取り組みや様々な働きかけなどにより、連続立体交差の必要性が理解され、平成20年5月に中井駅～野方駅間が新規着工準備箇所として採択されました。

道路と鉄道が連続して立体交差化されることにより、多くの踏切がなくなり、駅周辺が変わります。

中野区では、連続立体交差事業にあわせ、地域をより良くするため、沿線まちづくりを進めてまいります。このたび、地域の皆様に沿線まちづくりに関する情報をお届けするため、「西武新宿線沿線まちづくりニュース」を発行することになりました。今後ともまちづくり情報を発信してまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

中野区長 田中大輔

連続立体交差事業について紹介します

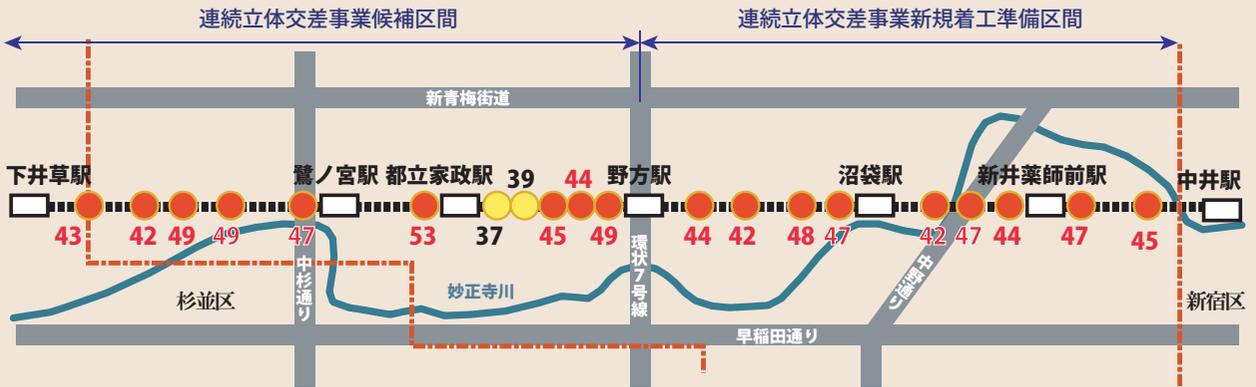
踏切がなくなる！まちが変わる！駅が変わる！

西武新宿線の中井駅～野方駅間が連続立体交差化、決定！

平成 20 年 5 月、西武新宿線の中井駅～野方駅間（約 2.6km 区間）が、連続立体交差事業の新規着工準備箇所として採択されました。事業主体である東京都は、事業化に向けた調査検討を進めています。また、平成 20 年 6 月、東京都は野方駅～井荻駅間について、新規着工準備採択を目指して取り組んでいく箇所（事業候補区間）のひとつに選定しました。

区内 9 割が 40 分以上遮断する開かずの踏切！

● 開かずの踏切 ● それ以外の踏切
数字は最大遮断時間（分/時）



平成 16 年度交通量実態調査（出典：交通実態調査「西武新宿線踏切対策に伴う沿線まちづくり整備構想策定調査報告書」平成 17 年 3 月 中野区）

連続立体交差事業とは

連続立体交差事業とは、鉄道を一定区間連続して高架化または地下化することで、事業区間内の複数の踏切を同時に除却し、交通渋滞の解消などを目的とした道路事業です。なお、事業費については主に「国、東京都、中野区」が負担し、一部を鉄道事業者が負担します。

<連続立体交差事業における主な事業効果>

- 踏切による交通渋滞や踏切事故の解消
- 鉄道による地域分断の解消
- 鉄道の安全性の向上、踏切経費の節減
- 駅周辺の整備、交通アクセスの改善

<負担割合のイメージ>



<道路整備の財源が必要です!!>

※連続立体交差事業をはじめとする道路整備事業は、道路特定財源をもとに、国土交通省の国庫補助により実施しています。事業の推進には安定的な財源の確保が必要不可欠であり、国に対して、道路特定財源が一般財源化されても、道路整備に必要な財源を確保するよう求めています。

地域のみなさまの活動を紹介します

まちづくり勉強会の紹介

西武新宿線の連続立体交差化は、区民の「夢」から「現実」へと着実に進み始めています。連続立体交差化により、沿線のまちは確実に変化します。沿線をより住みやすく魅力あるまちにするために中野区は、地域のみなさまとともに、沿線まちづくり活動を平成16年より積極的に進めております。

発足：平成16年8月23日

新井薬師前駅周辺のまちの将来像などについて議論を重ねてきました。今後は、連続立体交差事業を契機にアクセス道路の整備や連担する密集市街地の防災性の向上など、より具体的なまちづくりを検討していきます。



新井薬師前駅周辺まちづくりの会

発足：平成16年1月22日

「沼袋駅周辺計画」、「駅前バス通りの将来像」、「沼袋のまち全体の将来像」、「広域の将来像」の4つの大きなテーマについて検討を進めてきました。今後、連続立体交差事業を契機に、より具体のまちづくりを検討していきます。



沼袋駅周辺まちづくり勉強会



野方のまちの未来を描こう会

発足：平成17年5月17日

野方のまちは、西武新宿線と環状七号線により4地域に分断されています。これらの問題を解決するために、連続立体交差事業の実現に大いに期待を寄せ、地域住民が一致団結して「野方のまちづくり」に取り組んでいきます。



鷺ノ宮・都立家政駅周辺まちづくり検討会

発足：平成17年5月16日

鷺ノ宮駅の急行停車駅としての役割や近接する都立家政駅とのつながりの考え方が課題であり、鷺ノ宮駅の地域の拠点化と商業的なにぎわいによる二駅のつながりの創造を目指し、連続立体交差事業とあわせたまちづくりに取り組んでいきます。

西武新宿線踏切渋滞解消促進期成同盟の活動紹介

本期成同盟は、中野区内の西武新宿線踏切問題の早期解決をめざし、区民・区議会・中野区の三者により、平成16年に結成し、都知事、国土交通大臣宛てに要望活動を行ってきました。

平成19年12月、西武新宿線（中井駅～野方駅間）は長年にわたる地元住民の願いが届き、連続立体交差事業の新規着工準備箇所として国の予算案に計上されました。

しかし平成20年3月末、道路特定財源の暫定税率の期限切れにより、連続立体交差事業の実施が危ぶまれるという事態を重く受け止め、平成20年4月18日、野方区民ホールにて連続立体交差事業の早期実現を求める決起大会を開催し、同日、総理大臣、財務大臣、国土交通大臣等に要望活動を行いました。

その後、暫定税率が復活し、平成20年5月、連続立体交差事業の予算が確定しました。



第一回現地視察会を開催しました！

平成20年12月15日(月)、4つの勉強会が合同で駅前広場の現地視察会を開催しました。

当日は22名の参加があり、西武池袋線の練馬駅、富士見台駅、練馬高野台駅などの見学と、連続立体交差事業について西武鉄道から説明を受けました。



平成20年度まちづくり勉強会の開催

開催日程

◎開催済 ●次回開催

	平成20年										平成21年	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新井薬師前駅周辺 まちづくりの会		◎ 5/29	◎ 6/27		◎ 8/20		◎ 10/6		◎ 12/12		●2/2(月) 19:00~ 上高田地域センター	中旬 予定
沼袋駅周辺 まちづくり勉強会		◎ 5/16	◎ 6/9				◎ 10/20	◎ 11/28			●2/6(金) 19:00~ 沼袋地域センター	
野方のまちの 未来を描こう会	◎ 4/24				◎ 8/6	◎ 9/30			◎ 12/1		●2/4(水) 19:00~ 野方地域センター	
鷺宮・都立家政駅周辺 まちづくり検討会		◎ 5/23	◎ 6/17			◎ 9/18			◎ 12/2		●2/13(金) 19:00~ 鷺宮地域センター	

次回検討を予定している内容

- ・沿線まちづくり方針の確認
- ・現地視察会の報告
- ・駅周辺道路ネットワーク(車系・歩行系)方針の検討
- ・駅周辺整備イメージの検討

是非、お気軽に
まちづくり勉強会にご参加下さい！

参加を希望される方は、
下記お問い合わせ先まで連絡をお願いします。

次号予告

次号では、創刊号でも紹介いたしました新井薬師前駅～鷺ノ宮駅の5つの駅周辺における4つの勉強会の活動について、発足から現在までを特集で取り上げることを予定しております。

- 西武新宿線沿線4勉強会のまちづくり活動報告
- 西武新宿線沿線まちづくり方針(たたき台)について

※お問い合わせ

中野区 都市整備部 西武新宿線沿線まちづくり担当
03-3228-5487

□「西武新宿線沿線まちづくり」については
中野区ホームページにて掲載しています！
今後の勉強会日程についても掲載を予定しています！
是非ご覧下さい！

<http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/023/08/d13300003.html>